

1. 想定項目

1.1 想定項目の概要

地震時に発生する出火件数を想定し、消防力等を加味した消火件数・延焼範囲を想定し、焼失棟数等の想定を行った。

出火の想定

対象とする季節・時刻について、予知の有無を考慮しつつ、建物全壊率をもとに出火件数を求めた。なお、出火件数として、住民によって直ちに消し止められる火災も含んだ全出火件数と、その中でも消防活動を要するまでに拡大した炎上出火件数の2種類を木造、非木造別に求めた。

消防運用の想定

消防運用については、阪神・淡路大震災の事例を踏まえて、市町村単位で保有する消防ポンプ車や水利の状況から消火可能な件数を求めた。この結果と、で求めた木造炎上出火件数との関係から、延焼拡大の可能性のある残火災件数を求めた。

延焼の想定

延焼の想定は、延焼拡大件数に対して、1延焼拡大件数当たりの延焼面積により求めた。また、消火に成功した場合でも、1消火件数当たり焼失棟数を設定して焼失棟数を求めた。

表 1-1 火災の想定内容と結果表示方法

種類	想定項目	結果表示方法
出火	全出火件数、炎上出火件数	市町村別集計表
消防運用	消火件数	市町村別集計表
延焼	焼失棟数	市町村別集計表

1.2 想定フロー

火災に関する想定フローを以下に示す。

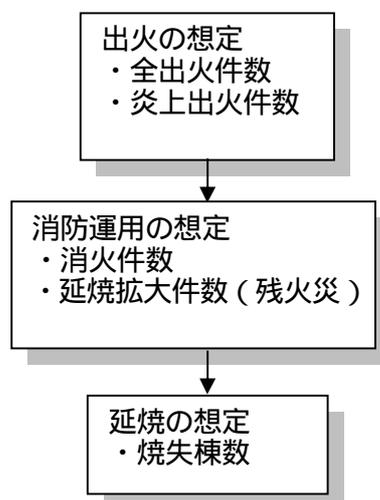


図 1-1 想定フロー